



令和4年9月21日

令和4年度東京消防庁公募型研究の募集について

～民間企業、大学、研究機関などの技術や研究、開発を支援します！～

東京消防庁（以下「当庁」という。）では、消防業務における課題を解決できる民間企業、大学及び研究機関等（以下「民間企業等」という。）の研究を支援します。多数のご応募をお待ちしております。

1 概要

消防業務における様々な課題を効果的かつ効率よく解決するためには、民間企業等が保有する技術、情報の力を活かすことが必要であると考えています。

この研究は、民間企業等が行う調査、研究、開発に対して、消防の知見、情報及び施設等を提供し、その活動をサポートすることで将来の当庁の課題解決を目指すものです。

2 当庁の課題

消防活動時における消防隊員の受傷、事故等の防止

3 当庁の課題に対する研究テーマ（別添え参照）

「消防活動時に屋内から安全に退避するための研究[※]」

（※研究テーマに関する研究具体例は別添えを参照してください。）

4 研究の種類等

「知見提供型」

消防の知見、情報、施設等を提供して民間企業等が主体的に実施する研究を「知見提供型」による研究といたします。

消防分野の装備、戦術、安全対策について、将来の製品化を目指した可能性調査や消防活動上の安全対策方法、装備品プロトタイプ製作等の研究開発へ協力します。

なお、研究に関する費用は民間企業等の負担となります。

5 消防の知見、情報及び施設等の提供例

- (1) 当庁の施策の方向性及びその取組み
- (2) 消防隊で使用している資器材等の情報
- (3) 消防隊の活動要領等の情報
- (4) 過去の研究、検証内容の情報
- (5) 東京消防庁幡ヶ谷庁舎内の実験施設（恒温恒湿室、振動実験棟、燃焼実験棟）、訓練施設
- (6) その他、研究に関する消防の知見、情報、意見及び助言

6 募集期間

令和4年9月22日（木）から10月31日（月）まで

7 応募方法

下記の「[東京消防庁公募型研究 応募要領](#)」に従い、「[別記様式第1号 企画提案書](#)」をダウンロードし、必要事項を記載して郵送またはメールアドレス宛に送付してください。

(1) 各種様式等

[東京消防庁公募型研究 応募要領](#)

[別記様式第1号 企画提案書](#)

[別記様式第2号 提案申請書](#)

[別紙1 企画提案書の作成要領](#)

[別紙2 評価項目及び評価基準](#)

[別紙3 提案申請書の作成要領](#)

(2) 郵送先

〒151-0072

東京都渋谷区幡ヶ谷 1-13-20 東京消防庁 幡ヶ谷庁舎

東京消防庁 安全推進部安全技術課 担当 技術検証係

応募先 E-mail アドレス gijyutuka1@tfd.metro.tokyo.jp

8 注意事項

「知見提供型」による研究は、民間企業等が行う調査、研究、開発に対して、消防の知見、情報及び施設等を提供し、将来、当庁に有益で導入可能価格の製品等が市場に流通される状態を目指しています。

この研究により得られた研究成果は、当庁が直接導入を前提としたものではありませんので、あらかじめご承知おきください。

問合せ先

東京消防庁（代）	電話 3212-2111
安全推進部安全技術課	内線 6347, 6348
広報課報道係	内線 2345~2349

R5研究テーマ

【消防活動時に屋内から安全に退避するための研究】 知見提供型研究

具体的な研究例

1. 予防・設備関係

- ・ 消防用設備等を活用した消防隊避難補助設備の開発研究（誘導灯等の活用）
- ・ 防災センターと消防隊の有効的な連携手法に関する研究



2. 警防・装備関係

- ・ 退路確保に熱画像直視装置を活用するための消防装備の開発研究
- ・ 無線通信機器等を活用した隊員の脱出サポート資器材の開発（PDRセンサー等の応用）
- ・ 消防隊用高輝度発光ホースの開発（有効な脱出方向の明示について）



3. 心理・行動関係

- ・ 火災活動時の理想的なバディの関係性（技能、性格及び年齢に着目して）
- ・ 延焼建物内での消防隊員の心理状況について
- ・ 退路喪失時の隊員の心理及び行動に関する研究

